



「初日の出」(朝日山観音)

謹んで新春のお慶びを
申し上げます



発行所
長野市立安茂里公民館
電話 226-4059
発行人 新見 宏司
発行月 5.7.9.11.1.3月
(株) 信光社

安茂里地区
世帯数と人口
(12月1日現在)

| | |
|-----|---------|
| 世帯数 | 9,166戸 |
| 総人口 | 20,733人 |
| 男 | 9,968人 |
| 女 | 10,765人 |

世界中がコロナに振り回された2020年が終わり、2021年・令和3年を迎えました。新年を迎えるころには新型コロナウイルスの抑え込みにも希望の光が見えてくるだろうと予測していた人も多かったのではないでしょう。か？世界中でワクチンや治療薬開発の取り組みが進んでいますが、各国が協力し一刻も早く新型コロナウイルスの撃退が現実のものになって欲しいと思います。

とこの例えとして「牛の歩み」という諺もあります。このゆつくりと歩く牛のイメージから国会などでは時として「牛歩戦術」という言葉が使われます。議会内での採決の際、議員が故意に投票箱までの移動に時間をかけ法案の成立阻止などを目的に行う行為で、その姿は真剣な議員には失礼ですがテレビ中継などでは非常に滑稽に映ってしまうのです。そして、この「牛歩戦術」が過去に長野県議会で使われたことを高齢者の皆さんは御存じでしょう。1948年、長野県を南北に分割しようという分県意見書案が中南信の議員から提出され、北信地域を中心とする反対派議員が牛歩戦術により議事引き延ばしを図り議場は大混乱となりました。そして、傍聴に詰めかけていた大勢の市民から「信濃の国」の大合唱が起こりこの日の本会議は流会になったとされます。地方議会でこの牛歩戦術が使われたのは非常に珍しく、いまの長野県はその歴史を経てあるのだと感慨深く思うと同時に……牛歩か……さすがに善光寺のお膝元だと思ったものです。

新しい年2021年が幕を開けました。例年であれば「明けましておめでとうございませう」と躊躇なく交わせる年頭の挨拶も、今年は素直に言えない人が多いのではないだろうか。5月のGW、そしてお盆の夏休みを我慢すれば、年末年始には首都圏や県外に出ている我が子や可愛い孫たちに会えるのを期待していた高齢者も、年末年始の休暇を利用して海外や国内の旅行を計画していた若い人たちも、その大部分が計画の中止や修正を余儀なくされたに違いない。一昨年末、中国で新型コロナウイルスが原因と分かる最初の肺炎患者が見つかったから既に1年以上が経過した。しかし、日本国内はもとより世界のコロナ感染の広がりは一向に終息の兆しが見えてこない。そんな中、今年もまもなく成人の日を迎える。今年も長野県内では約1万9500人、そして安茂里地区では約300人の若者たちが晴れて成人の間に入り、果たすことになる。一生に一度の晴れの日を大変な混乱の中で迎えることになるが、それを自分たちの不運とすることなく、此の苦難をともに乗り越え仲間としての絆をより強く結ぶ機会にしてもらえればと願うばかりである。

杏仁

企業を訪ねて 見学記 参加者の声

鈴木 恵美 (差出中)

11月とは思えない夏日寸前のお天気の中、4つの企業へ社会見学に行ってきました。

コロナ対策もバッチリの大形バスに乗り込み、まず柄木田製粉さんへ。昭和30年代に建てられたという、歴史ある工場は迫力の大きさでした。原料の小麦から、製品になるまでの工程に、おやき文化で小麦粉を使うことの多い私たちは興味深々で見学時間を大幅にオーバーしてしまいました。

急いで向かったのは、キコリデザイン研究所さん。カラマツを利用してとてもかわいいたし計を作る工程を見学しました。木のぬくもりが感じられる数々に感心しきりでした。ほぼ無言でサツと昼食を食べてから西之門よしのやさんへと急ぎます。明治時代に建てられ素敵な建物や近代的な工場を見学した後はお待ちか

ねの試飲試食タイム。とってもおいしいお酒や甘酒をいただきます。

ホクホクのまま向かったのは公民館のお膝元、犀川浄水場です。イケメンの担当者の方に構内を案内して頂きました。私たちが安心しておいしいお水を飲むことができないのは当たり前ではないのだと実感することができました。

コロナで大変な時に、見学を受け入れてくださった企業の皆様から感謝し、とても有意義な秋の一日を過ごすことができました。



『有限会社キコリデザイン研究所』

丸山 一夫 (差出北)

去る11月19日、『企業を訪ねて』に参加をしました。当日は新型コロナウイルスの感染防止策として、検温、手指の消毒、マスクの着用、体調の聞き取り調査を受けてバスに搭乗となりました。バスは大型バスで横一列に2名着席の三密を避ける対策がなされました。そして、訪問先への出発です。

最初は篠ノ井にあります『柄木田製粉株式会社』です。この会社は製粉事業を主とした会社で、政府が輸入した小麦粉原料を購入し、製粉してあります。この工場では小麦粉、そば粉のほかに飼料等の製造もしています。工場の中は、原料投入には人がいたものの、マシンの管理、セット替えに少しの人がいるくらいで、自動化が進んでいました。出荷用倉庫の管理も出し入れも含め自動化になっていました。工場全体としてもかなり自動化が進んでいる工場であると感じました。

二番目訪問企業の『有限会社キコリデザイン研究所』はカラ松を素材に使った時計の

製造販売をしている会社です。キコリデザイン研究所は、数名の人員の木工所で、カラ松を中心とした木材を使用し、キコリブランドとして手作りの時計を作っています。個性

温かみのあるデザインの置時計・壁掛け時計は出産祝いや新築祝いなどのギフトとして喜ばれているようです。また、価格においても手ごろな感じでした。

3番目訪問の前に昼食です。これは豪華に『ホテル○○21』での食事。ご馳走様でした。自費です。

午後1番の企業訪問は善光寺西にある『西之門よしのや』です。この、西之門よしのやさんは寛永14年(1637年)に善光寺領西之門で酒造業を創業し、明治に味噌の製造業も手掛けました。近年に清酒工場見学コースや蔵元直営売店をオープンしています。清酒工場見学コースは無料で見られ、直営売店ではお酒、味噌などが売られており、これらの試飲・試食ができます。これらの商品にはオリジナル性を持たせ、売店テラスを含めなかなかの雰囲気を持っており、善光寺界限にもこんな

と

ところが有るのかと、一度は行ってみたい所です。

そして最後の訪問は『犀川浄水場』です。この浄水器の現在は、犀川の伏流水と小田切ダムからの取水を行い、約6万4千m³/日の取水量は長野市最大の浄水場となっています。犀川浄水場で作られた水道水は、ポンプによる直接給水と松ヶ丘配水池経由の給水、また、夏目ヶ原浄水場へも補給水として送水され、市内各所へ給水されています。

犀川浄水場の見学では、わたしたちが普段何事もなく飲んでいる水道水の浄水工程を目の前にして見る事ができました。水の大切さを感じた方も多かろうと思います。そして、多くの人にも毎日お世話になっている地元の浄水場を見学して頂きたいと思いつつ、帰路のバスに搭乗となりました。



『犀川浄水場』

知られざる戦禍の安茂里④

謎の部隊「海軍通信隊 藪田部隊」について

昭和の安茂里を語り継ぐ会

第11代安茂里村長・塚田伍八郎氏が遺された「自由日記」にあった驚きの記述のうち「館報安茂里11月号」では水戸の工兵隊が安茂里に洞穴を掘った事実を紹介しました。今回はもう一つの驚きの記述です。

この海軍通信隊・藪田部隊は全く謎の存在です。部隊長の藪田中佐は海軍兵学校56期、歴戦の勇士で、市ヶ谷にある防衛研究所の和田朋幸先生は「藪田部隊は東京海軍通信隊の一部隊であろう」と教えて

くれた。一方、墨谷大尉は4等水兵（陸軍でいえば2等兵）から入隊する海軍選修学生を経て大尉となった人で頗る優秀な士官であったと思われる。

この選修学生から大尉まで昇進した墨谷氏は他の兵士からすれば神様のような存在で、その成績から特に通信関係に長けていたことがわかります。第22期普通科電信術教程で153人中2番、第26期高等科同教程32人中3番という好成绩を残していました。その技術を生かし戦艦陸奥や扶桑

で勤務し、全国に4か所あった鎮守府と呼ばれる海軍の基地本部の中でも殆ど呉と舞鶴の鎮守府で勤務していました。20年6月に東京通信隊の分隊長に命ぜられます。これは長野行きに備えた人事だったと推測されます。

塚田佐さんによると、部隊は連日トラックに乗って小市橋をわたり松代方面に行っていたといい、村長の孫の塚田興造さんは「トラックに乗せてもらい松代大本営の工事現場に数回行った」と証言しています。佐少年の登下校にも銃剣付き小銃を持った兵士が敬礼するほどの物々しい警備の中で、いかなる命令を帯びて作戦行動をしていたのか……さらに調査を進めるつもりです。

ところで75年前の終戦時、陸軍に後れを取るまじと「本土決戦」を睨んで編成派遣された海軍の謎の部隊：超優秀な部隊長・幹部からなる決戦

土屋光男



海軍藪田部隊 墨谷大尉と書かれた鞆（提供：松坂明氏）



謎の海軍通信隊藪田部隊の本部となった塚田邸
門と母屋を上方からドローンで（提供：松坂明氏）

豊かな生活育てましょう
安茂里公民館226-4059

生活文化講座
⑥ ポールを使った
体幹ストレッチ

講師 西澤真由美先生
日時 1月14日(木)
1月21日(木)
1月28日(木)
午後1時30分～

定員 20名
申込 受付中。申し込み状況を
お問い合わせください。

◎文学講座

講師 堀井正子先生
日時 2月15日(月)
午後1時30分～

◎時代の見方・考え方

講師 信濃毎日新聞
論説委員
日時 2月17日(水)
午後1時30分～

※詳細は未定です。公民館に
お問い合わせください。

◎楽しく歌おう愛唱歌③

講師 上村まり子先生
日時 3月5日(金)
午後1時30分～

定員 50名
申込 安茂里地区にお住まいの方
2月12日(金)～
その他地区にお住まいの方
2月19日(金)～

なかよし広場
◎楽しく遊ぼう

⑦「昔なつかしいあそび」

講師 庄村光子先生
日時 1月13日(水)
午前10時～

※新型コロナウイルスの感染
予防のため内容等が変更
なる場合があります。皆様
にはご迷惑をおかけしま
すが、ご理解のほどよろ
しくお願いいたします。

中止のお知らせ

◎絵柄の入った
やしよう作り

日時 1月26日(火)

第44回囲碁将棋大会
(地区対抗戦)

日時 2月7日(日)

※新型コロナウイルスの感
染予防のため中止にな
りました。お楽しみにし
ていただいた皆様にはご
迷惑をおかけしますが、ご
理解のほどよろしくお願
いいたします。

令和3年度
安茂里公民館利用者説明会のご案内

日時 2月16日(火) 午後2時～
場所 安茂里公民館 2階集会室(ホール)

令和3年度に安茂里公民館および小市分室の
利用を希望しているサークルの代表の方はご
出席ください。

令和二年度 安茂里地区
人権を考える住民の集い

日時 2月6日(土)
午前10時30分～
場所 安茂里公民館
講師 NPO法人
日本精神療法学会
理事長 松本 文男 先生
演題 「コロナ禍における
子どもの人権を考える」
定員 50名
申込 1月20日(水)
～22日(金)

～新刊のお知らせ～

新刊が入っています。皆様のご利用をお待ちしております。ホームページから新刊の確認も
できるようになっています。またご希望の本のリクエストもできます。ぜひ、ご活用ください。
※おひとりさま、5冊まで。2週間の貸し出しです。

江戸の夢びらき

商う狼

CAボーイ

銀鬮の人

サンドイッチにはさまれたいやつよっといで

風よあらしよ

ちょっと作ってみたいくなる大人のかしこい手抜きごはん

はんぶんこ

まんぷくよこちょう

「だし」でおいしい健康レシピ

ノースライト

流浪の月

むかしむかしあるところに、死体がありました。

松井 今朝子

永井 紗耶子

宮木 あや子

門井 慶喜

岡田 よしたか

村山 由佳

奥蘭 壽子

多田 ヒロシ

なかざわ くみこ

山岸 一茂

横山 秀夫

凧良 ゆう

青柳 碧人

文藝春秋

新潮社

KADOKAWA

KADOKAWA

佼成出版社

集英社

学研プラス

こぐま社

文溪堂

旭屋出版

新潮社

東京創元社

双葉社